

女性の再チャレンジについて(現状)

平成17年10月28日
内閣府男女共同参画局

我が国の女性の再チャレンジをめぐる現状(概要)

子育て期に低下する女性の労働力率と高い就業希望率
女性の就業希望者(25～54歳)は約264万人

第一子出産を機に約7割が離職。再就職後はパート割合が高い。

高学歴の女性ほど再就職が進んでいない。

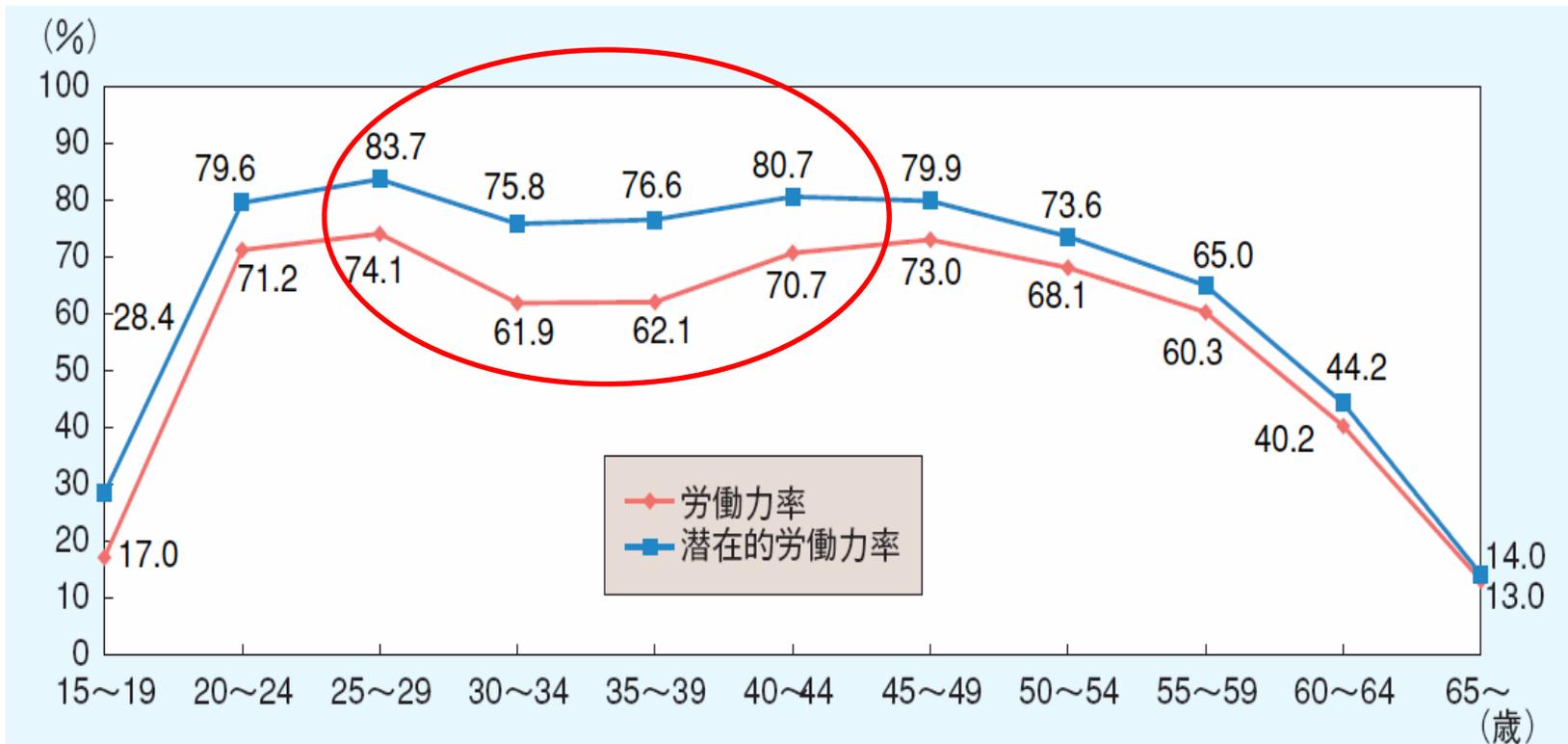
女性の起業希望者は50～60万人台で推移。
うち、30歳代を中心に子育て期に多い。

女性の自営業主(起業家)数は、185万人。うち、新規開業者は15万人。

NPO等の市民活動では、特に福祉、教育、国際協力等の分野で女性の活躍が見られる。

女性の労働力率は、子育て期に当たる30歳代前半で低下するM字型カーブを描くが、就業希望者を加えた潜在的労働力率は高い
 女性の就業希望者(25～54歳)は約264万人

女性の年齢階級別潜在的労働力率



資料出所：「平成17年版男女共同参画白書」(内閣府)

注：1. 総務省「労働力調査(詳細結果)」(平成16年平均)より作成。

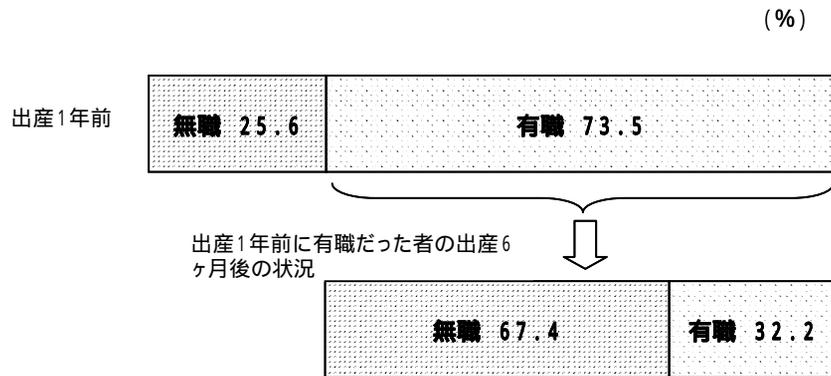
2. 年齢階級別潜在的労働力率 = (労働力人口(年齢階級別) + 非労働力人口のうち就業希望者(年齢階級別)) / 15歳以上人口(年齢階級別)

第一子出産を機に約7割が離職。再就職後はパート割合が高い。

約7割が出産を機に離職

再就職後(M字の右肩)に多いパート・アルバイト割合

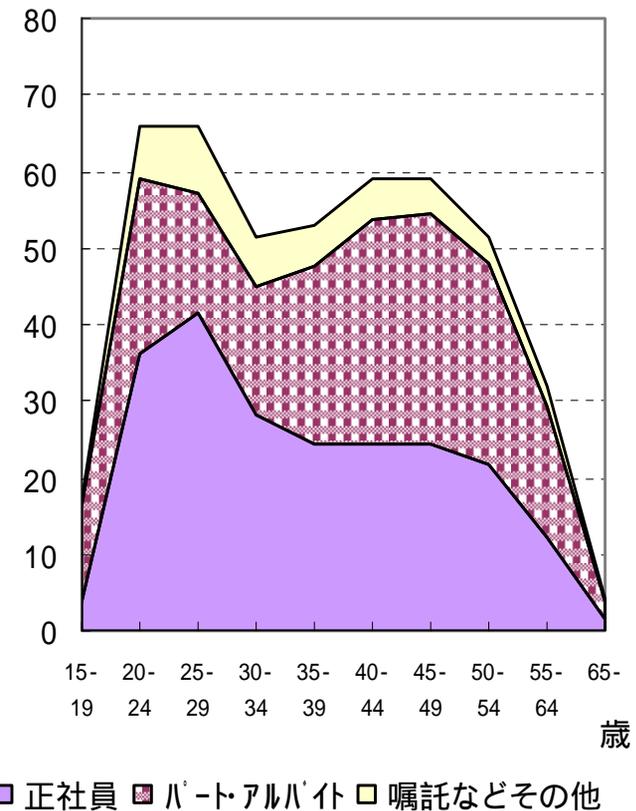
第一子出産前後の就業状況



資料出所: 厚生労働省「第1回21世紀出生児縦断調査」(平成13年)

注: 調査対象: 平成13年1月10日~17日、7月10日~17日の間に出生した子の母親

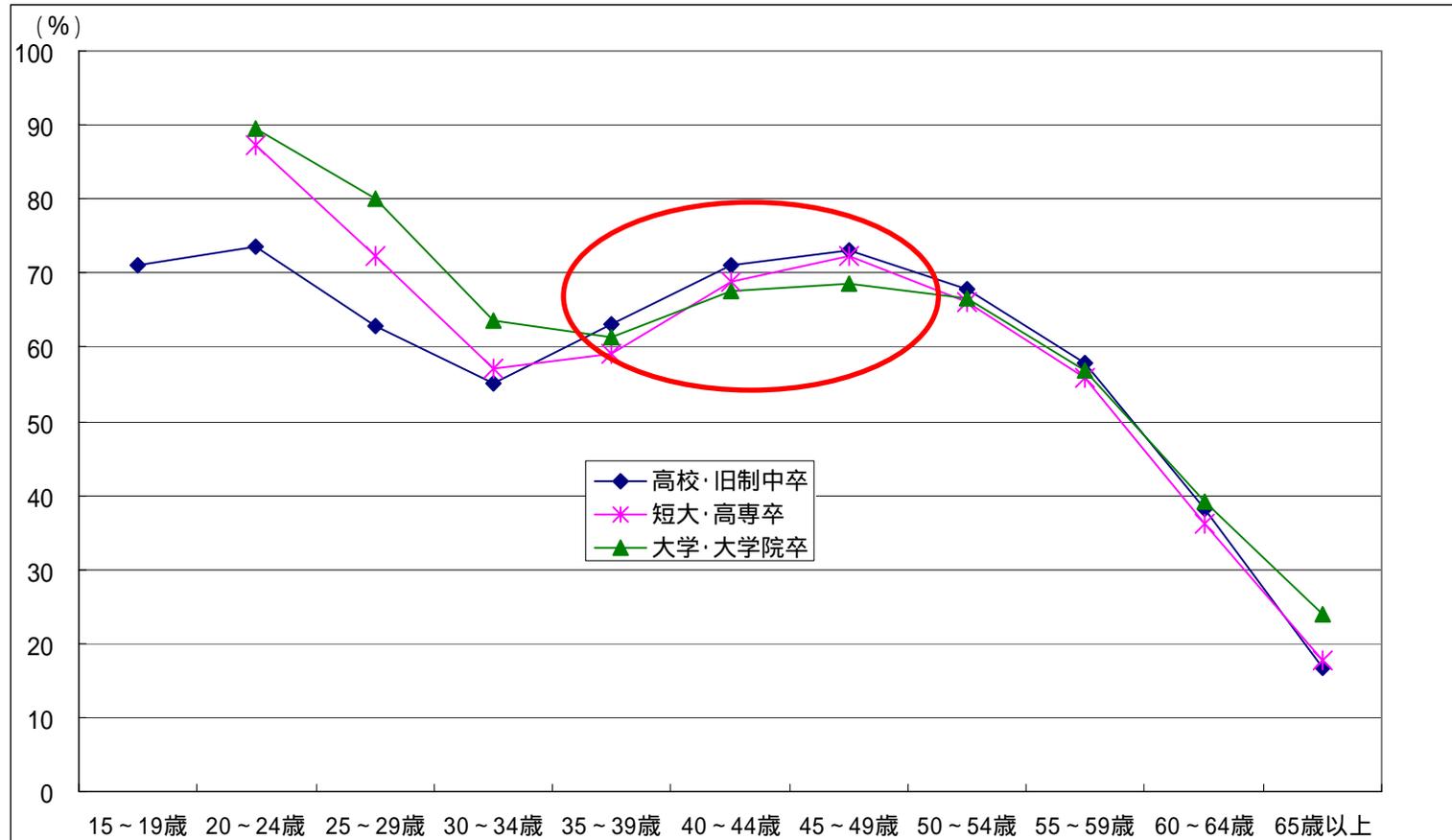
雇用形態の内識別年齢階級別雇用者割合



資料出所: 「就業構造基本調査」平成14年(総務省)

高学歴の女性ほど再就業が進んでいない。

女性の有業率(学歴、年齢階級別)



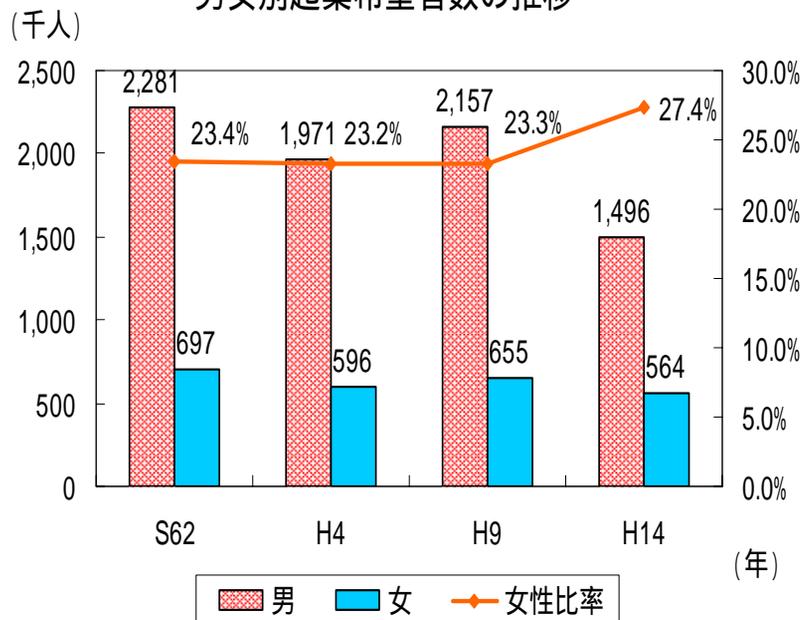
資料出所: 「ライフスタイルの選択と雇用・就業に関する制度・慣行」についての報告」平成16年7月(男女共同参画会議影響調査専門調査会)

注: 1. 総務省「平成14年就業構造基本調査」より作成。

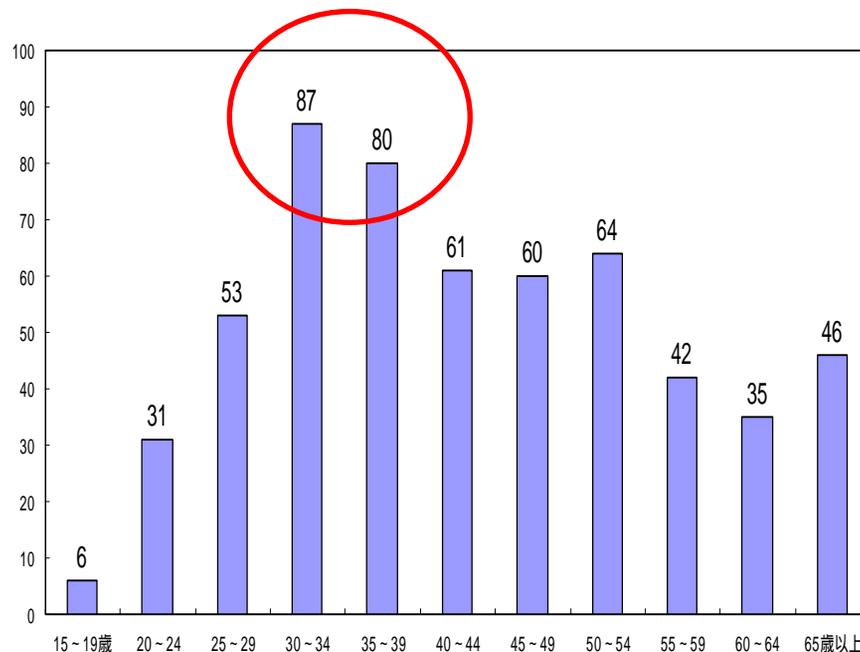
2. 有業率: 15歳以上人口に占める有業者の割合、「在学者」は除く。

女性の起業希望者は50～60万人台で推移。
うち、30歳代を中心に子育て期に多い。

男女別起業希望者数の推移



女性起業希望者の年齢構成(平成14年,千人)

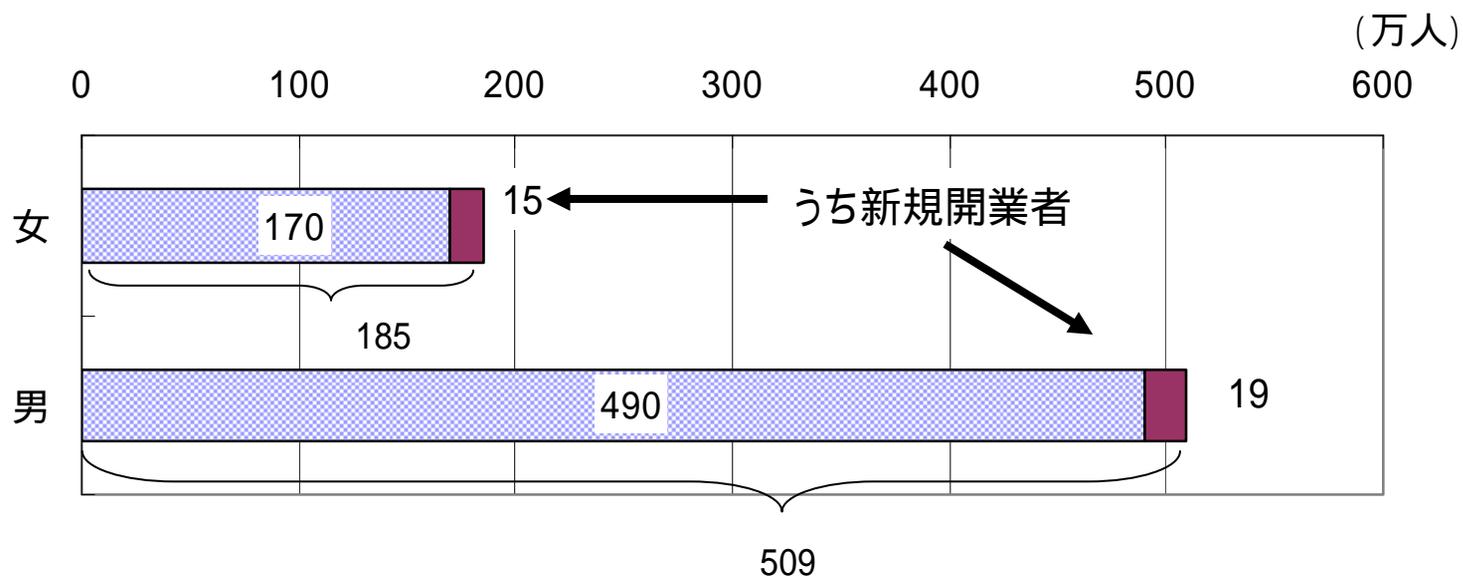


資料出所:平成14年就業構造基本調査(総務省)

注: 起業希望者とは、追加就業希望者、転職希望者及び就業希望者のうち、希望する仕事の形態として「自営業主」又は「自分で事業をしたい」と回答した割合を示す。

女性の自営業主(起業家)数は、185万人。うち、新規開業者は15万人。

男女別にみた自営業主(起業家)数



資料出所: 「ライフスタイルの選択と雇用・就業に関する制度・慣行」についての報告」平成16年7月(男女共同参画会議影響調査専門調査会)

注: 1. 総務省「平成14年就業構造基本調査」より作成。

2. 「うち新規開業者」は、自営業主(継続就業者、転職者及び新規就業者)のうち、調査前1年間に転職又は新たに就業した者の数である。

NPO等の市民活動では、特に福祉、教育、国際協力等の分野で女性の活躍が見られる。

市民活動団体等における男女の割合

